

日時： 平成27年1月28日（水）14：00～16：00

場所： 堺市総合福祉会館 5階 大研修室

対象： 市内在住の障害当事者

参加人数： 22人（身体障害者5人、知的障害者7人、精神障害者9人、発達障害者1人）

※ 障害当事者部会からの参加人数は9人

合計 31人

（１）説明「障害当事者部会とは」

前田部会長

（２）交流会

テーマ： 当事者の望む支援の在り方

グループ①

◎ハード面（制度等）の問題等について

【サービス】

- ・移動支援の支給時間が少ない。【身体障害者】
- ・夜に移動支援を利用したいが、対応してもらえるヘルパーがいない。
- ・移動支援において、自転車の併走を可能にしてほしい。【精神障害者】
- ・ヘルパーの交通費を負担しなければならないので、移動支援は利用しにくい。
- ・複合援助において、ヘルパーの利用時間によって家事援助の時間が足らなくなる。【精神障害者】
- ・就労継続B型に通所しているが、訓練の場であるにも関わらず、ノルマが生じ利用者が過剰勤務を強いられることもある（事業所の経営の問題か）。
- ・生活介護と在宅サービスを組み合わせて生活しているが、生活介護を休むと在宅サービスの支給量が足りない。【身体障害者】
- ・受給者証や障害者手帳の更新手続きが面倒な上、調査員に同じことを何度も訊かれる。
- ・利用者負担額が発生するので、ヘルパーの利用を控えている。
- ・堺市民で他県のグループホームや日中活動のサービスを利用していた時に、自治体のサービスの相違で自費が発生してしまった。
- ・自分がどんなサービスを利用できるか分からない。

【その他】

- ・列車とホームの乗降で、電動車椅子の人がボードの上を通過するときに倒れそうになっていた。
- ・駅員不在の駅が多い。
- ・銀座通りの放置自転車や自転車の走行によって、車椅子の方の通行に危険が伴う。
- ・車椅子の方の踏切横断が危ない。

- ・病院受診がしんどい（突発的な受診、院内の各科回り、手続きなど）ため、往診を充実させてほしい。【身体障害者】
- ・各関係機関が休みの年末年始や土日は不安が募るため、24 時間安心コールセンターをもっと有効活用してほしい。【精神障害者】
- ・行政と民間が協力して、すべての困った人に対応できるように、できる限りチャンネルを増やしてほしい。

◎ソフト面（支援者等）の問題等について

- ・身体障害者の方が多い作業所で知的障害の人も利用をしているが、どう関わったらよいのかわからない、年齢の差もあって難しい。【身体障害者】
- ・ヘルパーの力量の差や、相性の問題があって、良いヘルパーに巡り合わないこともある。
- ・自分の言いたいことが、支援者に伝わらないときがある。【身体障害者】

◎みなさんの「幸せ」とは？

- ・良い相談員に恵まれて、転居や恋愛など生活全般上手くいっている。
- ・ピアの勉強をしているが、前向きに一步步やっていきたい気持ちになっている。
- ・当事者の悩みは、当事者しか分からないところもあるので、交流の場を大切にしたい。

グループ②

◎生活して困っていることはなに？

- ・作業所に色々な人がいる。よくしゃべる人もいたり、大きな声を出す人もいる。作業所のメンバーで話し合いはするが、同じことを繰り返し話している。【精神障害者】
- ・内部障害なので周りにわかりにくい。切符買う時も「どこの障害？」と言われるため傷つく。【身体障害者】
- ・てんかんでも「何の障害？」と言われる。相手に病気のことを伝えないといけない。【精神障害者】
- ・目立たない障害、その人しか大変なところはわからない。啓発や体験しても結局のところわからないのでは？
⇒・でも分からない人を責めることも違うと思う。【発達障害者】
- ・いろんな障害がある。その人に合ったトイレがあまりないと思う。特に観光地。トイレの場所を聞けない人もいる。車いす OK などのガイドがあればいいな。【知的障害者】
- ・新しいところは比較的バリアフリーになっている。ただ、それが当事者に合っているかと言えば違うこともある。【身体障害者】
- ・駅のエレベーターに行くまでが遠い。後から作っているからか？
- ・駅の案内が小さい、会社によっても違うかも。統一された方がいいのに（数名の参加者）
- ・駐車場の障害者用のパーキングに健常者が車を止めている。もう少しスペースがあればいいのに。店舗の入り口近くにあればいいのに。お店によって数やスペースも違う。
- ・親戚の人に病気を理解してもらえない。返事が遅かった時にライター投げられるなどきつい

ことを言われた。【精神障害者】

- ・学校でもマネされることも。【精神障害者】

⇒・周りの人がどう伝えるかだろう。

- ・病気の名前は知ってても症状までわかっていないのではないか。【発達障害者】

- ・病気で動きが遅いため、周りの目も気になる。

- ・内部障害のカード持っている。【身体障害者】

- ・介護保険の窓口申請に行っても、「お母さんですか？」と言われる。当事者だと思われない。

【難病】

- ・難病の特性上、荷物を持つのがしんどいが友人に持ってと言うのは億劫。【難病】

- ・がんばって働いているのに「働けるやん！」と言われる。【難病】

⇒・家族や親族から見たら、障害や病気ってわかっていても、腹が立つのでは？【発達障害者】

- ・2次障害で耳が聞こえにくい。特に集団だと聴き取りにくい。【身体障害者】

- ・どういう風に支援してもらおうか試行錯誤している。

- ・ヘルパー事業所を数事業所併用しているが、障害が重度になってきて、研修が何回も必要になってきている。

- ・ヘルパーさんの研修期間が短く（ヘルパー事業所によっては研修期間が1回や1ヶ月だけなど）不十分になっている。【身体障害者】

- ・ヘルパーなど支援者に関して、通訳の人でもその人によって伝わり方違う。その人のことをわかっていないと難しいのでは。

◎今配慮できることはありますか？

- ・ホワイトボードに書いているのを伝えてもらっているので大丈夫です。（ヘルパーさんに伝えてもらっている）

◎楽しいことなんですか？

- ・女性のレゲエのライブに行ってきた。いい刺激になった楽しかった。【知的障害者】

- ・ドライブするのが一番好き。四国まで車で行ってきた。奥さんについて来てもらった。【身体障害者】

⇒・車好きの人は車を大切にするよね。

- ・発達障害ではタイプが2つに分かれる。【発達障害者】

①AD/HDの人は出かけるのが好きな人が多い。

②自閉症の人、一人で何かをすることが多い。

⇒・障害もあるけど性格もあるのでは？性格の根っこにあるのが発達障害である。元々持っている気質があって、社会に適応ができなくなると障害になる。

- ・ライブに行くこと。友だちができて一緒に行くこともある。最初は一人で行っていたけど何回か行っているうちに気になってきて自分から声をかけた。【発達障害者】

- ・一人で小旅行に行くこと。2時間あれば出掛ける。【難病】

- ・ニトリやブックオフにでかけるのが好き。【知的障害者】

- ・ライブ行ったり CD 買ったり。最近は体もしんどいのでテレビでライブや映画をみること。
- ・PC のネットショップで CD 買ったり、たまには外にも行く。

グループ③

◎参加者から「それぞれの立場から困っている事」について

【精神障害（アルコール）者】

- ・通所している時間はアルコールを飲まなくて良い。作業所での目的は「賃金」ではない。
- ・間違った障害の認識をされる。見えにくい障害である。
- ・アルコール依存症で近隣に入院できる病院が少ない。
- ・「ブレーキの壊れた車」に乗っているようなもので、断酒会に参加するしか、コントロールできる方法はない。しかし、例会の開催に会場代がかかる。

【知的障害者】

- ・作業所から外に出て仕事に行く（外部での作業）
- ・やりたい仕事は出来ている？
⇒ ・作業の説明で終わる。
- ・最近一人暮らしをしている事を自分で言えるようになった。（一般就労している。）以前は気を遣って言いにくい時期があった。会社の中では（障害について）オープンにしているが、休むと「変な噂（遊びに行ってたんじゃないか等）」をされてしんどくなった。

【身体障害者】

- ・身体障害で作業所に通っているが、病院は色々な「科」へ行く必要がある。
- ・家では入浴などヘルパーが入っている。が、（サービス以外の）「途中で」お腹が痛くなり、しんどくなったら、人を見つけること（ヘルパーの確保）が難しい。時間（支給時間）も足りない
- ・朝はヘルパー、夜は夫に（介護を）頼む。ヘルパー事業所 7 社と契約をしており、組み立てが大変。自分でしている。
- ・ヘルパーが少ない。質も悪い。
- ・ヘルパーの時間数がもらえるか（希望通り）も分からない。
- ・バリアフリーになっていないお店、公共の場所がまだ多い。

【精神障害者】

- ・障害福祉等について知らない環境で育ったので、障害を持った時「ショック」だった。しかし、得られるものもあった。自分に何が出来るのか、薬だけじゃない周りの支援「自助」「公助」「共助」。自分らしい発想の転換。

◎それぞれの「小さな幸せ」は？

- ・当事者部会と出会えたこと。【精神障害者】

- ・ボランティア活動をしている事。(ペットボトルキャップを収集し、社協に持ち込む)。生きている価値を感じる。【精神障害（アルコール）者】
- ・ヘルパーさんと週 1 回のカラオケ。ヘルパーは同じ年で分かってくれる。【知的障害者】
- ・趣味の「よさこい」「スポーツ吹き矢」「USJ のジュラシックパーク」に行く事。【知的障害者】
- ・知り合った仲間からの年賀状（100 枚以上）人とのつながり。【精神障害（アルコール）者】
- ・バスケットで友人増えた。和泉方面で大会にも出ていて大阪代表に選ばれた。【知的障害者】
- ・夫と夜DVDを観ること。最近は「新撰組」や「ごちそうさん」。【身体障害者】
- ・ヘルパーさんと出掛けること。時間が決まっているので「映画」など。【知的障害者】
- ・「入浴」し首までつかって、入浴剤を入れ、少し上を向いてリラックス。【精神障害者】

グループ④

◎普段どんな生活しているか？（どんなサービスを使っているか？）

- ・グループホームで暮らしている。
- ・浅香山病院のサロンに月～木行っている(食器を集めたり、出前したり)。
- ・精神障害者の作業所に行っている(8 年)お漬物を作っている。
- ・作業所でトラブルになってやめ、プラザでスポーツしている。
- ・作業所でサンプル詰めの内職をしている。
- ・今は作業するのは、しんどいのでどこにも通っていない。
- ・図書館に行く。
- ・スポーツセンターに行く時にガイドヘルパーを使う。掃除をしてもらっている。

◎「困っている」こと、「望む支援」とは？

- ・メンバー(当事者)主体がテーマの作業所。
- ・病気、障害を持って出来ないことも増えた。
- ・精神障害、生活保護を受けることで変な人と見られる。
⇒なくすには当事者から発信が大事。
- ・住宅が古いので困っている。
- ・ヘルパーさん、今のままで良い。
- ・ストレスがたまるから聞いてくれるところがあったら良いな。
- ・「自分がどうしたいか」をピアサポーターとして他のメンバーから引き出す（そのように考えられるようになってもらう）のが難しい。
- ・サポートは必要だけど自分で出来るところ増やしたい。
- ・料理が難しい時は手伝ってほしい。
- ・外出の時、異性ヘルパーさんと出かけたい(例えば服選ぶ時などは異性の意見を聞きたい)が、トイレ(介助)のことがあるので、同性のヘルパーさんになる。
- ・同性でしか出来ないこともあるので同性ヘルパーさんが良い。
- ・きちんと仕事をしてくれれば、若い人でもそうでなくても良い。

- ・異性のヘルパーさんには介護をしてもらうのは恥ずかしい。
- ・希望(内容)によって男性、女性ヘルパーに来てもらいたいけど、ヘルパーさんが足りないので希望通りにはならない。
- ・仕事がたくさんあって忙しい。工賃を上げるため職員がたくさん仕事をとってきてくれるのだが。
- ・仕事のリーダーをするとメンバー(当事者)とスタッフの板挟みになる。例えば、自分は1対1で話すのが苦手で作業は黙々として、休憩室などでは皆とも話すタイプだが、話ながら作業をしたいメンバーがいて、「話さない様に」と言うと、スタッフから「厳しくするな」と言われる。

◎皆さんの「小さな幸せ」とは？

- ・(今日の)アップルジュースが美味しかった。
- ・工賃が増えた。
- ・普段話せない事が皆で話せた。
- ・健康福祉プラザのスタッフが優しい。
- ・作業所で嫌なことがあっても、自分の部屋に帰ってきて「まゆゆ」のポスターを見たら嫌なことを忘れる。
- ・夫婦関係。

(3) アンケート結果

※ 回答者数：21人（回収率：95%）

Q. 交流会はどうでしたか

- 1 よかった・・・・・・・・・・・・・・・・・・14人
- 2 どちらかといえば、よかった・・・・・・・・5人
- 3 どちらかといえば、よくなかった・・・・・・・・0人
- 4 よくなかった・・・・・・・・・・・・・・・・・・0人

（無回答：2人）

【ご感想やご意見など、ご自由にお書きください】

- ・今日言えなかったこと…選挙の期日前投票で、代理投票で係員の人に聞き取りがなかなか難しかったり間違えられたりしたことがある。ひとつひとつ確認しながらやってほしいと思う。係員への研修が必要ではないでしょうか。
- ・他の障害者の事は、やはりわからない事が多いです。もっとこんな機会を設けて、知る必要があると思います。
- ・はじめての参加ですけど、みんなの意見が聞けてよかったです。(すごい参考になりました。)
- ・初めてなので緊張しました。いい緊張感だったので、この雰囲気を楽しめてよかったと思います。個々の作業所や支援センター等との交流会もあれば面白くていいなあ

思いました。

- テーブルごとに分かれての交流は良かったのですが、同じグループの人の発言が少し聞きにくくて残念でした。テーマについての発言が難しかったかなと思いました。
- 4つのグループに分けての交流だけでなく、シャッフルして他の方々との交流できればもっと良かったかもしれません。
- 初めて重度の他の障害者の方たちとお話できて貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- みんなの意見が聞けてよかった。
- 他障害の方々の大変さを知り、まだまだ精神障害者の自分は甘いと思いました。本当に励まされた交流会でした。これからも精神障害者の立場として力をつけ仲間を励ましていける自分になりたいと思いました。ありがとうございました。
- 今日は本当に良かったです。皆様に元気をもらって帰ります。
- ありがとう。
- これからは楽しい話をしたいと思いました。今日は楽しかった。
- 自分の普段思っている事が言えましたし、一緒にグループだった方の思っている意見もたくさん聞けて、私も参考になりました。笑いながらお話できて良かったです。お互いの意見交換ができて良かったと思っています。ありがとうございました。
- 楽しい話が出来た。
- いろいろな話が聞けてとても良かったです。
- またの機会に期待します。
- 色々な障害を持っている人と交流会で話をして、大変だなと思いました。また、交流会に参加してみたいです。生活で困っている人。
- 皆様それぞれの苦労話をお聞きすることができ良かったです。機会があればまた参加させて頂きたいと思います。
- 個人的に前日から頭痛かった。2時間何とかがんばった。ヘルパーの女性、男性のあり方は盛り上がった。参考になった。古い住宅で困っている。